

イノベーション部門

応募事例名

まちづくりの新たなインフラ「高度処理水」 ～省エネ・うるおい・にぎわい～

応募団体名)名古屋市

応募事例の概要



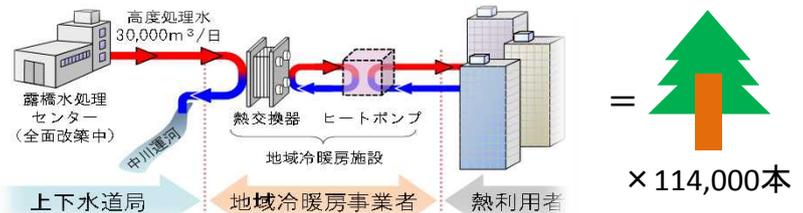
事業概要

露橋水処理センターの高度処理水日量約3万m³をささしまライブ24地区へ送水し新たなインフラとして、多目的に活用します。

■省エネ

日量約30,000m³を利用

- > 一般家庭約580世帯分が1年間に使用するエネルギーを削減
- > 1年間に杉の木約11.4万本が吸収するCO₂量を削減



■うるおい

日量約30,000m³を利用
> 閉鎖性水域の水質改善



■にぎわい

日量約5,000m³を利用
> 親水空間の創出



PRポイント

- ◆ 2027年のリニア開業で国際レベルのターミナル駅となる名古屋駅から約1km南に位置する、旧国鉄笹島貨物駅跡地のささしまライブ24地区では、平成11年度から「国際歓迎・交流の拠点」を目指したまちづくりが進められています。この地区は「地球温暖化対策・ヒートアイランド対策モデル地域」に指定されており、環境にも配慮しています。
露橋水処理センターの高度処理水を新たなインフラとして多目的に活用することで、①省エネ（地域冷暖房への高度処理水熱利用）②うるおい（中川運河堀止部の水質改善）③にぎわい（親水空間における修景用水）といった、新たな価値をまちに創出します。
- ◆ 本事業は、民間の地域冷暖房事業者が含まれており、官民が連携した取組みとなります。